

# 相談ネットワーク通信

2014. 1. 31(金)

子育て・教育なんでも相談ネットワーク 岡山市北区表町1-4-64 上之町ビル3F

## No. 82

TEL・FAX 086-226-0110 Eメール: soudan-net@vivid.ocn.ne.jp

花は さく

かどくら さとし

花は さく  
みじか さいのちでも  
せい いっぱい あふれるように  
花は 土にさく

花は さく  
たとえ きびしい時代でも  
せい いっぱい はばたくように  
花は さく

花は さく  
たとえ みじか さいのちでも  
せい いっぱい もえるように  
花は さく



上の詩は、門倉さとしさんの作品。今年の相談ネットワークの年賀状に載せさせていただきました。門倉さんと言えば「たんぽぽ」わたしは大学生のころ歌っていたのですが今では小学校でも歌われて、子どもたちの大好きな曲です。

雪の下のふるさとのよる  
つめたい風と土のなかで  
あおい空をゆめにみながら  
野はらにさいた花だから  
どんな花より たんぽぽの  
花を あなたにおくりましょう

性教協の村瀬さんから次のような年賀状をいただきました。  
「誰もがやがて世を去る。この如何ともしがたい事実を事実として淡々と受け入れ、しかもなおもう少しましな社会を時代につなぎたいという「希望」を失わず、いけるところまでいこうと思っっています。こんな賀状が出せることを大地に感謝しながら。本年もどうぞよろしく。」

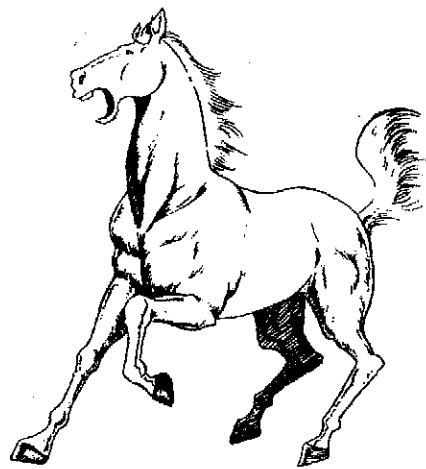
教育も日本もどうなるのだろうかと不安がいろいろありますが、希望をもった一年にしたいものです。  
皆様にとってよい一年になりますように。

一九九〇年の設立から生き残りは小生だけ。有終の美を飾りたいもの。奥田さんを失って淋しいけれど、若い人々（といっても六十代）に囲まれてウマくカッコよくは走れないが、馬車馬を手本に「ゆっくり ゆったり ゆうゆう」と歩いていきたい。よろしくお願ひいたします

難波 一夫

ここ数年腰痛に苦しんでいる。「腰痛を治すには運動をして筋肉を強化する以外にはありません」と外科医に言われた。そのため一念発起し元旦は操山へ登った。一日で終わったのではだめよね。そこで二日目は善通寺にドライブし、広い広い境内を歩いた。これ以後、一日三千歩を目標に歩こうと思っている。結果は来春の本紙で報告。まずは元気にネットワークに来ることが大きな目標だ。

前田 俊輔



## 相談員 今年の抱負

二〇一四年もよろしくお願ひします

私は、週一回、木曜日にネットワークでお世話になっていきます。この日は、四人の相談員が対応しています。私自身は、初心者で一番若く他の相談員から学ぶことが多い、退職後の人生を豊かにしてもらおうとともに勇氣と元気をいただいています。その中で私自身ネットワークに来るのが楽しみの一つとなっています。何か相談事がある方はぜひネットワークへ寄って下さい。私たちは青眼で歓迎します。

正保 宏文

孫たちが安全で元気に育つよう援助し、体力維持に努力し、趣味のパッチワークを作り、平和な世界を次世代に残すよう少しだけ力を出す。そんな一年にしたいものです。

衣笠 祥子

ことしは、電話相談や面談だけでなく、子育てや教育に関する集会にも積極的に参加して学習をしたいなあと思っています。今厳しい労働環境の中でも、一生懸命働き、子育てをしている若いお父さんお母さん、それを支えて孫育てをしているおじいちゃんおばあちゃんの話が聞けたら、元気がもらえると集まると、困難な現状を打開する方向が見えてくるように思うのです。ネットワーク会員の皆さんからの参加呼びかけも、お待ちしております。今年もどうぞよろしくお願ひします。

加戸 純子

昨年末、小学校の同窓会の案内が来た。私は卒業後みんなと違う中学校に通ったので、まちがいないく55年会つていない。何を今さらと思つたが、正月、香川県の小さな町へ行つた。

氏名から思い出されるのは、低学年のころの幼い顔ばかり。この国が、戦後復興していく中で私たちは成長し、そして老いていった。しかし、ただ老いたのではない。生活の中で戦後史は、生き生きと体の中を駆け巡っていると信じる。今年も頑張ろう

石川 真佐代

昨年は退職という自分の人生にとつて大転機になりました。やめてすぐに相談ネットワークに週二回来るようになり自分なりの新しい生活のリズムができてきたところです。ここでは主にネットワーク通信を担当して皆さんにホットで大切な情報が届くように考えています。県下に広がる会員さんが、文字通りネットワーク通信でつながり、教育や子育てに元氣と勇氣がわくように私も頑張つていきたいです。本年もよろしく願います。

秋山 正美

安倍内閣の「教育再生」は「戦争する国」を支える「自ら銃を持つて、戦場に向かう若者作り」にある。今年が分岐点の年になるので、これを押しとどめるための共同のとりくみを大きくすること。

田中 博



先日、東京にいる長女から電話があつた。午年のケーブルテレビ用正月番組の収録で、乗馬クラブに行つたときの話。娘は、カメラの前でマイク担当。インストラクターの指導で、タレントとディレクター二人の乗馬初体験を状況したそう。初体験の二人は、言われたとおりに馬の腹を蹴つても、サラブレッドはびくともしない。鞭をあてると言われても、暴走されそうで怖くて鞭は使えない。馬から降りて、命拾ひした二人の前を、インストラクターが、流鏑馬と全力疾走を見せて終つたそう。馬は、乗れば走るものだからの感覚しかないケーブルテレビの視聴者には、乗馬の大変さは分からないだろうと言う娘に、相槌を打ちながら、ひまわり学級で関わっている子どもたちと、モンゴル平原を走り回りたいたいという夢のまた夢を、いつの日にか実現できたらいいなと思つている。

石井 信行

さんじゆになつた！三十才ではない・・・「傘寿」つまり、傘が八十ということだ。なるのだそうだ！よくもまあ80年も生きたものだと思う。あと5年刻みでもう10年ほど長生きをしたいと考えております。

中野 敏正

ここ数年行動範囲が狭まっています。今年が積極的にあれこれの催しごとに参加しようと思つています。発達途上人の自覚をもって・・・。

高田 智長



お上を気にする教師養成。権力支配システムに組み込まれる学校経営等々。：。教え子を再び戦場に送らないという先輩教師達から引き継いできた旗印は、未来に向かつて、今の時代をどう戦うかを問いつながら、今を生きていく教師の上に、たなびいていく。国家の意図に忠節を強いられながら、戦争に行くのは、目の前にいる子どもらである。

⑤ 数学者でサッカー日本代表監督のオシムは、日本の教育システムや、そこに学ぶ子どもらの様子を見ながら、「たとえば国家のシステム、ルール、制度にしても同じだ。これしちやダメ。あれしちやダメだと人をがんに縛るだけだ。システムは、もつとできる選手から自由を奪う。システムが選手をつくるんじやなくて、選手がシステムをつくっていくべきだと考えている。」「個性を生かすシステムでなければ

ば意味がない。システムが人間の上に君臨することは許されないのだ。」彼はさらに言う「妬みや貧困よりも始末に終えないのは、生活の中で感じる閉塞感だ。」「ポジティブに考えるのは結構なことだ。だが、この世には、ポジティブに考えるチャンスさえない人がたくさんいる。」

⑥ 学力という時、それは世の中、自然・社会・歴史とクロスしてつながついていくものでなければならぬ。子どもは人格をもつ一人の人間であり、矛盾を克服しながら、たえず成長・発達する存在。一方、今を生きている、という意味で大人と同じ矛盾を背負っている。だから大人や教師、更に社会は子どもの置かれている状況に共感できるやわらかさをもち、否定的に見える側面から子どもの人間的な願いや発達の要求を読み取る受け止め方が大切である。

(つづく)

## ささやかな私の経験

「いじめ」に取り組む

田中 和裕

一九五三年四月、岡大教育学部を卒業した私は、玉島市立柏島小学校（三市合併前）に赴任しました。

各学年二学級の農村部の学校でした。私は、「遊び」を中心の指導をしました。五・六年を繰り返す担任でした。隣の組にS君といて、学区の者も知っている「ワル」がいました。遊んでいても誰かなく当り散らしてなぐる蹴るの乱暴をはたらき、担任のK先生も手をやかれ、放任状態でした。昨今、社会問題になっているひどい「いじめ」でした。

私は、K先生の了解を得てS君とかかわることになりました。私の組の子どもたちと一緒に素足で運動場で遊びまわりました。「馬跳び」「ソフトボール」「ラグビー」などを汗をかくまでやりました。

年配の先生方は当時あった「宿直」が負担らしく、私が引き受けていました。三日に一日は泊まりました。

その宿直の晩に、私のクラスの何人かと一緒にS君を泊まりに來させて寝食を共にしました。S君の話（本音）を聞いてやりました。S君は家庭内のことでストレスをかかえていました。それをじっくり聞いてやりました。

「いじめ」は徐々に消えていきました。たなか かずひろ

# みんな♡みんなはっぴー

主催：くらし応援委員会（赤磐）

憲法と私 難波先生の話 & 新聞紙でコサージュ作り

日時：2月10日（月）10：00～12：00

場所：コープ山陽 組合員活動室

募集人数：30名

参加費：無料 ★託児あります  
★参加は大人の方のみです

持ち物：はさみ、スティックのり、木工用ボンド、

みなさん、日々の暮らしの中で幸せを感じていますか？ 私たちの身近なことも憲法と密接に関係しています。前回の戦争の体験談に続き、難波一夫先生のお話をお聞きしてみんなで憲法の大切さを考えてみましょう！ &新聞紙で卒業式、入学式で大活躍の素敵なコサージュを作りましょう！



## 難波一夫先生プロフィール

『子育て相談ネットワーク』代表  
高校教師としての実践や  
長い相談活動の経験と  
豊富な読書量で現代の  
課題に対応できる知識を  
お持ちです。  
子供の目線に立った先生の講演は父母や  
現役の先生方にも好評です。



## あればラメ入りマニキュア



新聞紙で作ったコサージュ

### ★当日スケジュール★

- 10：00 開会
- 10：05～ 難波先生のお話  
＝憲法と私＝  
質疑応答
- 11：15～ コサージュ作り
- 12：00 閉会

★申込締切 1月31日(金)

## みんな♡みんなはっぴー 参加申込書

申込締切 1月31日(金)

名前	電話番号	託児
	( )	マニキュア あり
	( )	マニキュア あり
	( )	マニキュア あり
	( )	マニキュア あり

※お寄せいただいた個人情報は目的以外の使用はいたしません。

お問い合わせは

岡山県エリア事務局 086-958-0677

託児を申し込まれる方へ(1歳6ヶ月から)……

- ・託児料は100円/託児対象児1人につき
- ・当日は早めに集まり受付してください。
- ・タオル、ティッシュ、お茶等に乾きの上、持参ください。
- ・おもちや、おやつは持たせません。
- ・当日、体調のすぐれないお子様はお預かりできません。

十二月十四日、コープの「くらし応援委員会」主催の学習会がありました。役員さん手作りのの大型ペーパーサート（ゴリラと大砲）や難波先生のお話、九条ロール作りなど楽しくためになる企画でした。子どもたちや若いお母さん、難波先生を懐かしむ知り合いの方などの参加で盛会でした。上のチラシはコープ山陽の企画第二弾です。今回も楽しみにしています。



### 参加者の感想から

戦争から生まれるいい事など一度もない。私はそう思います。戦争を経験したことはないけれど、本当にいいことなど生まれないと話を聞いただけで感じたり思ったりし

戦争の反省から政治家は教育の場に直接口を出すべきではないと思うのですが……最近、そのところもあやしくなってきたり心配です。

# 青春断想⑩

「非国民」「パーマネントはやめましょう」  
 「産めよ殖やせよ」「国のため」「ぜいたくは敵だ」  
 「進め一億火の玉だ」「欲しがりません勝つ迄は」  
 「敵性語」「撃ちてしやまん」「月月火水木金金」

昨年(2013年)の流行語大賞は四語ありましたが、戦時中の流行語には右のようなものがありました。もちろん戦意高揚のためのものでした。

服装は男子はゲートル(巻き脚絆)、丸刈り、国民服(国防色と言われたカーキ色)。女子はモンペ。胸に住所・氏名・血液型を書いた布を縫いつけていました。どこで空襲にあったり、爆撃にあつたりしても「どこに、だれか」が分かるように。

流行歌は、「愛馬進軍歌」「愛国行進曲」「父よあなたは強かった」「兵隊さんありがとう」「名月赤城山」「勘太郎月夜歌」「暁に祈る」・・・  
 小説では、「次郎物語」「路傍の石」「新書太閤記」「三國志」「我が闘争」・・・  
 映画の男優では上原謙(加山雄三のお父さん)、女優では田中絹代。小学四年生のとき、母親に連れられて「愛染かつら」(この二人が主演)を観に行きました。翌日の朝礼で先生に「あんなくだらない恋愛ものをみてはいけない」と厳しく叱られました。

## 難波一夫

なんで叱られたのか分かりませんが、映画の中で歌う看護婦姿の田中絹代がものすごくきれいだっただのを思い出して、「きれいなものを見て『きれいと思つてはいけないんだ』ということだ」と思いました。でも「愛染かつら」の歌は忘れられないので、「花も嵐も踏み越えて・・・」と分かるどころだけ帰り道に大きな声で歌つたものです。ほかに心にもやさしい歌がいくつかあることを知りました。そんな歌は「女々しい、臆病者の歌」といわれて遠慮しなければならぬ時があつたのです。

「湖畔の宿」「蘇州夜曲」「別れのブルース」「裏町人生」・・・  
 中学生が歌う歌ではないとよく言われたのですが、近所の女生生たちがよく歌っていたのは「愛国の花」でした。この歌は、小学校の五年生から男女別学で育つた私たちには、実に心に響くもので、女性への憧れをくすぐるロマンチックなものでした。  
 真白き富士の気高さを心のつよい盾として みに国に尽くすおみならば 輝く御代の山ざくら 散り咲き 匂う国の花  
 若いたる若きもろともに 国難しのぐ 冬の梅 か弱い力よくあわせ 銃後には げむりりしきは やさしく 匂う国の花  
 三番まであつたのです。今でも歌うと、当時の憧れの女性の顔が浮かんできません。こうして、戦争へ戦争へと子どもたちも駆り立てられていったのです。  
 なんば かずお

年金問題シリーズその2

# 低年金・無年金者が多い 日本の年金制度

全日本年金者組合岡山県本部 書記長 田中 博

今、日本の多くの高齢者が無年金、低年金で暮らしています。65歳以上の無年金者が88、6万人、基礎年金(国民年金)のみの受給者が819万人で月額が平均4万9555円です。厚生年金でも月額10万円未満が370万人。計1300万人が月額10万円未満の年金で暮らしています。一人暮らしの高齢者は400万人、4分の3が女性で、女性の72%が年金額100万円未満です。

こうした実態を反映して、追い詰められる高齢者がふえ、高齢者犯罪が激増しています。この20年で検挙率6、3倍にも上り、万引きが検挙者全体の55、1%ですが、高齢者は72、8%と言われています。

昨年5月、国連の社会権規約委員会は日本の高齢者、とりわけ女性のあいだに貧困が広がっていることに懸念を表明し、最低保障年金を導入すること

を2000年勧告に続いて、あらためて日本政府に勧告しました。

全日本年金者組合は「日本に居住する60歳以上(日本に20歳以上で10年以上在住)のすべての人に、月額8万円を支給する」最低保障年金制度の創設を求めて、組合創設以来24年間、署名・議会の意見書採択・自治体要請などの運動を進めてきました。月額8万円は保険料が無拠出で支給され、保険料の額に応じて加算する2階建て方式です(保険料を払っていない人には月額8万円が支給されます)。

財源は消費税によらず、「国庫及び事業主負担」です。株取引や原発関係準備金など租税特別措置(不公平税制)を見直すだけで16兆円の増収ですし、2011年度で400兆円をこえている企業の内部留保を1%拠出させるだけで4兆円が生み出されます。

## ふくくじゆうそ

ゆがきて 新しい年が  
はじまりました  
らいことや悲しいことが  
あった去年でした  
んせいをおわり 星にな  
った奥田さん  
つくり休んでください  
よくがんばってください  
から  
して、ネットワークを  
見守ってください  
うれしいことや明るいこ  
との多いそんな一年にし  
たいもの 今年こそ  
春はまもなくです

病氣療養中の奥田順吉先生が、昨年12月14日お亡くなりになりました。相談活動やネットワーク通信で活躍でした。ご冥福をお祈りいたします。